

# 2022年2月期 第2四半期決算説明会資料

JNSホールディングス株式会社  
2021年10月19日



新型コロナウイルス感染症により  
亡くなられた方々及びご家族・関係者の皆様に  
謹んでお悔やみを申し上げますとともに、  
罹患および影響を受けられた方々に  
心よりお見舞い申し上げます。

また、治療や感染予防にご尽力いただいている  
医療従事者の方々に  
心からの感謝と敬意を表します。



# Ⅰ：2022年2月期第2四半期 決算概要

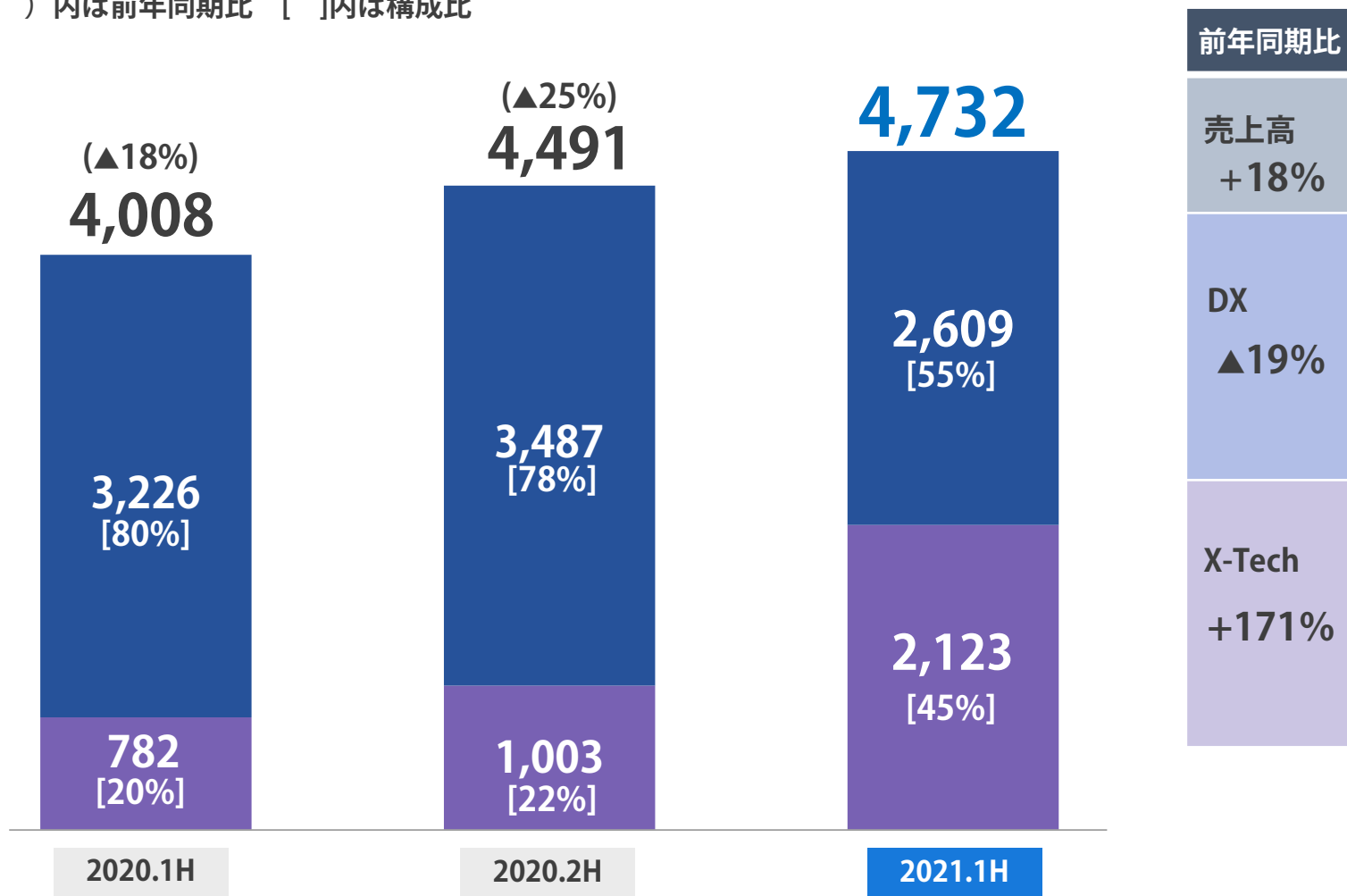
---

- ◆Nintendo Switch等コンテンツサービス事業を中心としたX-Tech事業の牽引により売上高は前年同期比18%増、営業利益は同20%増
- ◆(株)バリューデザインに関する持分法投資損失の発生から経常利益は前年同期比11%減となるも、同社株式一部売却に伴う特別利益等により純利益は3.6倍に増加

単位：百万円	2020.1H	2021.1H	前年同期比	
			百万円	%
売上高	4,008	4,732	+724	+18%
総利益 (%)	1,165 (29%)	1,779 (38%)	+614 (+9%)	+53%
販管費 (%)	997 (25%)	1,576 (33%)	+579 (+8%)	+58%
営業利益 (%)	168 (4%)	202 (4%)	+34 (-)	+20%
経常利益 (%)	112 (3%)	100 (2%)	▲12 (▲1%)	▲11%
特別損益	0	617	+617	—
税金等	44	▲156	▲200	—
純利益 (%)	156 (4%)	562 (12%)	+406 (+8%)	+260%

- ◆Nintendo Switch等コンテンツサービス事業が好調、X-Tech事業は前年同期比2.7倍
- ◆部材調達環境の悪化に伴うデバイス事業の低迷により、DX事業は前年同期比19%減

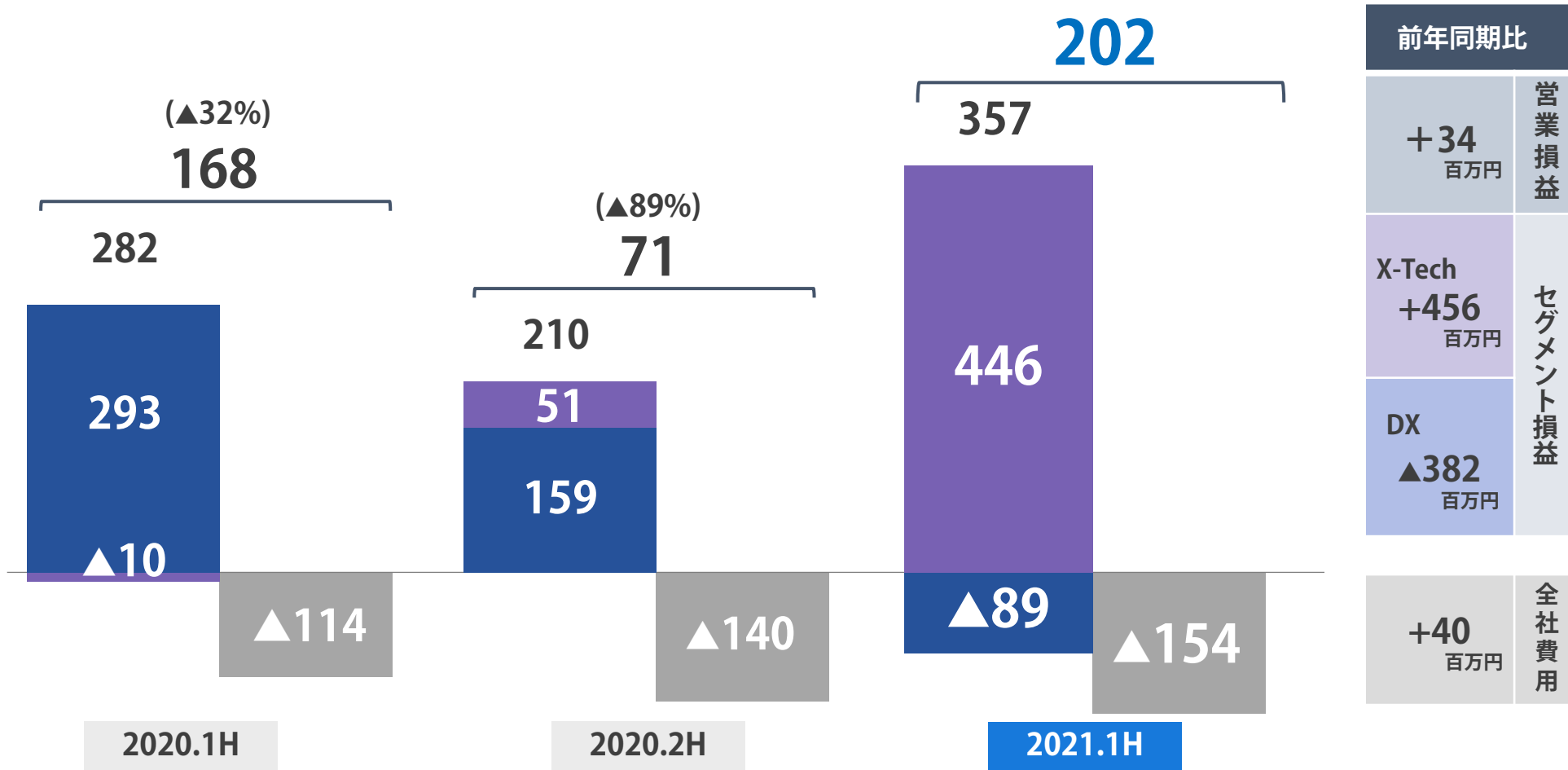
単位：百万円 ( ) 内は前年同期比 [ ]内は構成比



# 2021年度上期 セグメント別営業損益

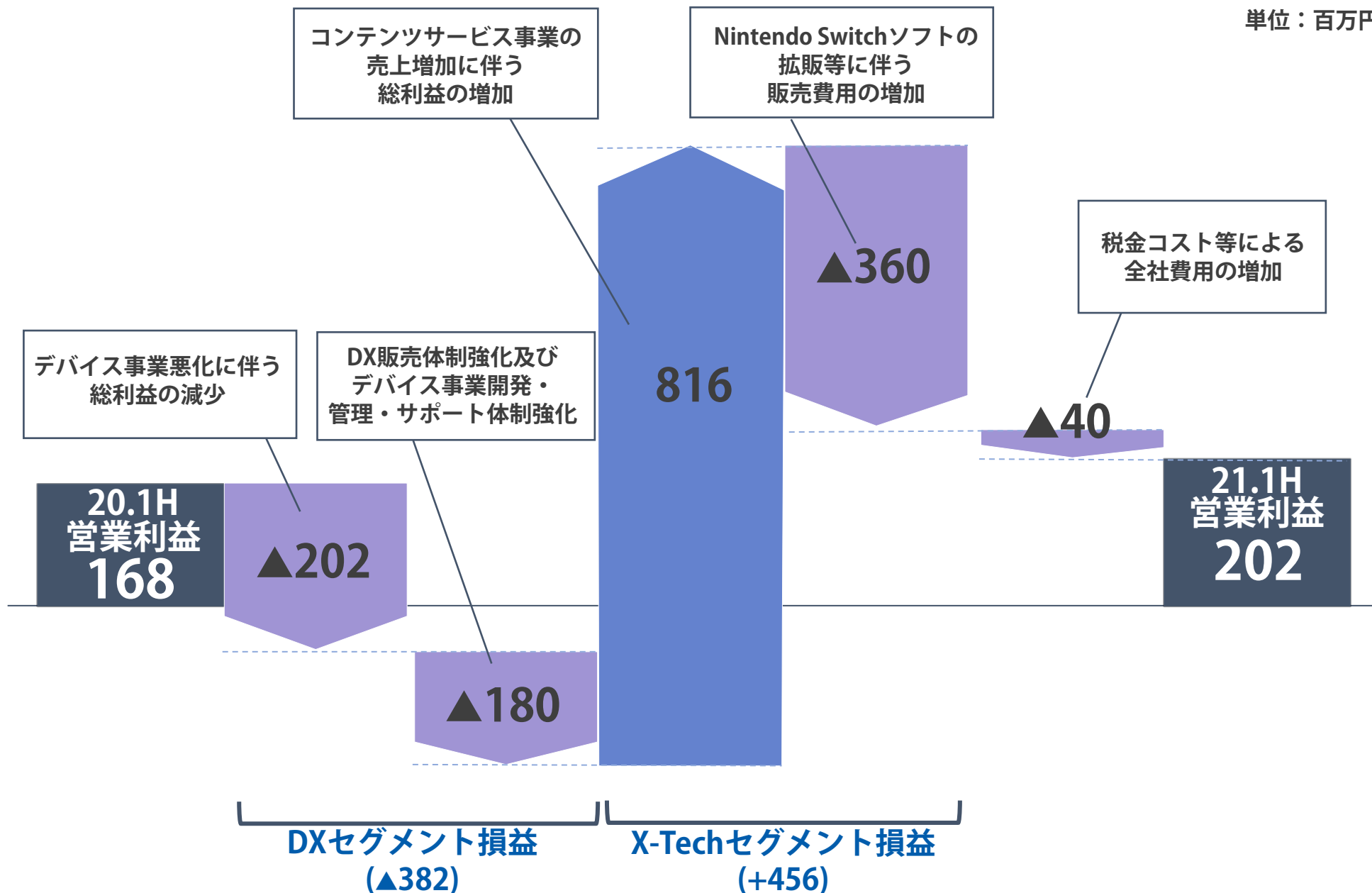
- ◆X-Tech事業はコンテンツ事業好調により446百万円にセグメント利益が拡大
- ◆DX事業はデバイス事業の不採算化継続により89百万円のセグメント損失を計上

単位：百万円 ( ) 内は前年同期比

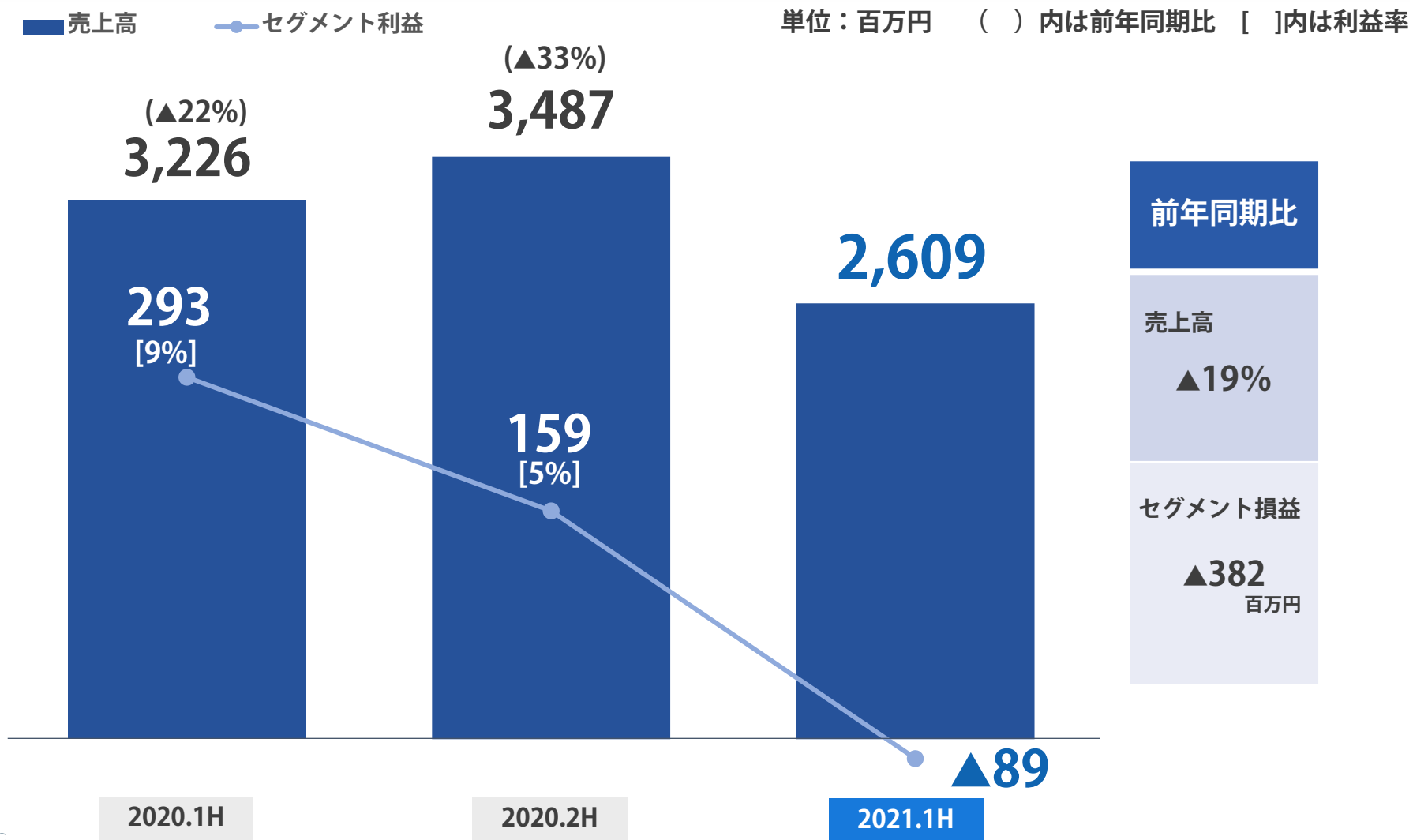


# 2021年度上期 営業損益増減主要因 (対前年同期比)

単位：百万円

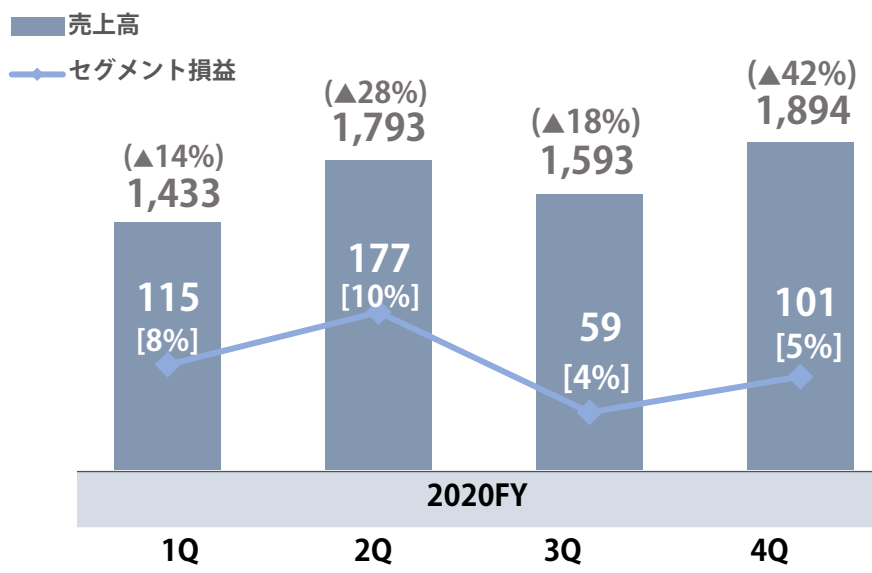
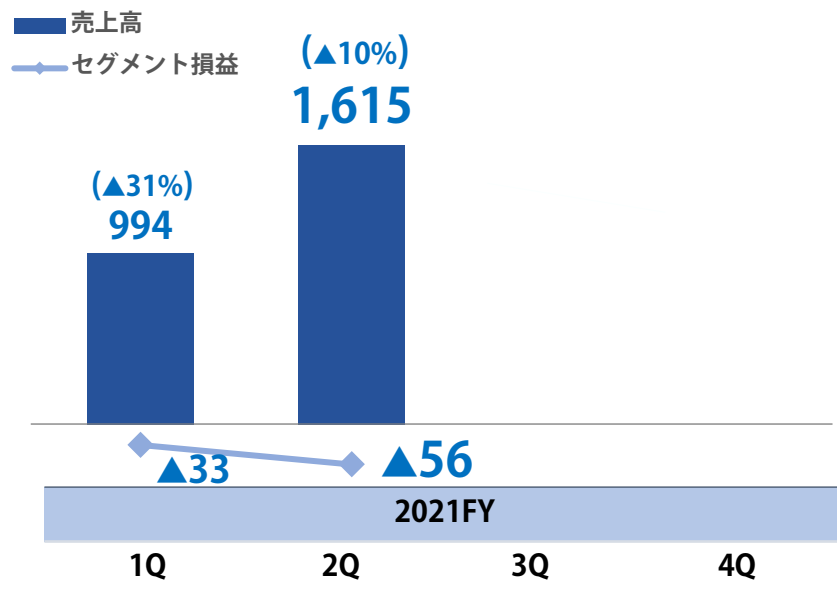


- ◆半導体等部材の需給逼迫や価格高騰に伴い、デバイス事業の採算が大幅に悪化
- ◆DX、IoT関連のサービス開発案件は堅調に推移するも、DX全体としては損失を計上





単位：百万円 ( ) 内は前年同期比 [ ]内は利益率



## 2021FY 2Qサマリー

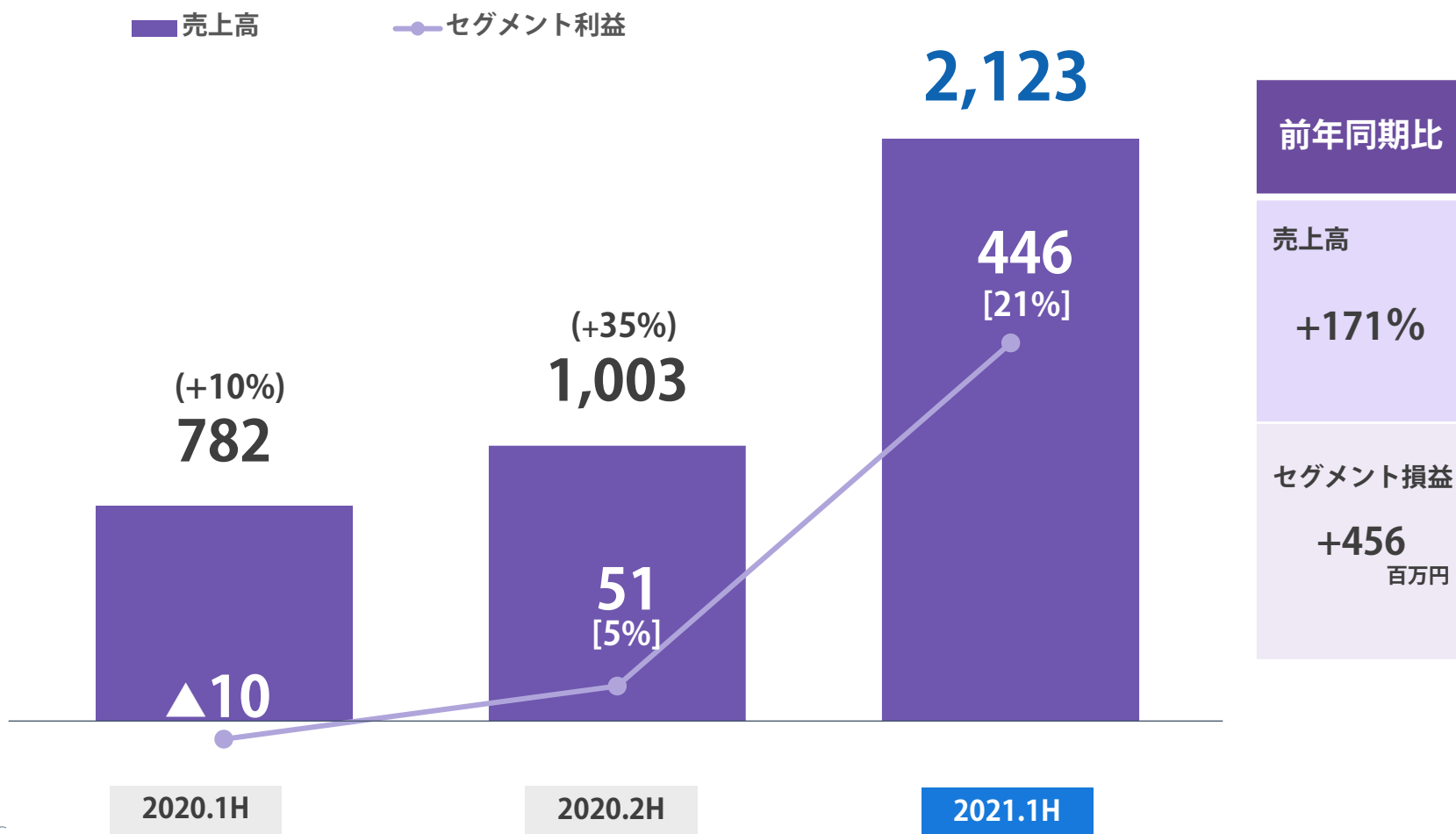
売上高は1Qから2Qにかけて回復  
セグメント損益は損失が継続

◆デバイスソリューションは、長期化する部材調達環境の悪化により損失を計上  
ただし、1Qから2Qにかけては売上高は拡大しつつあり損失幅は縮小傾向

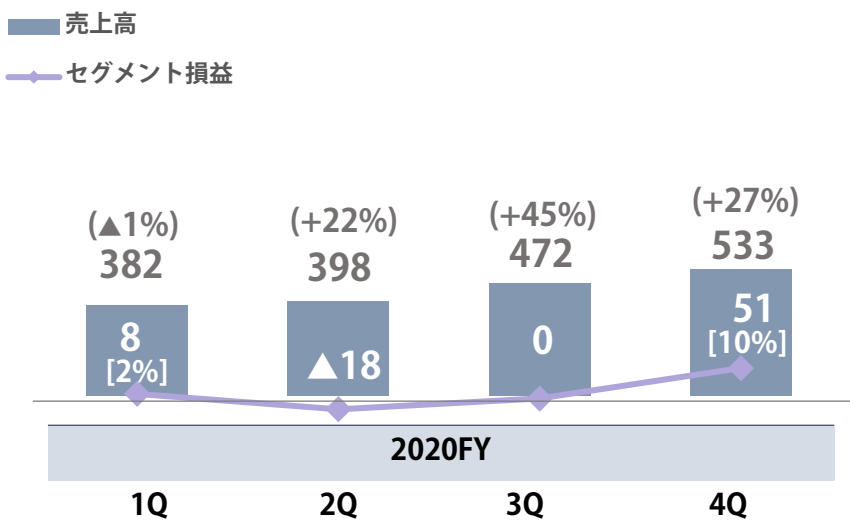
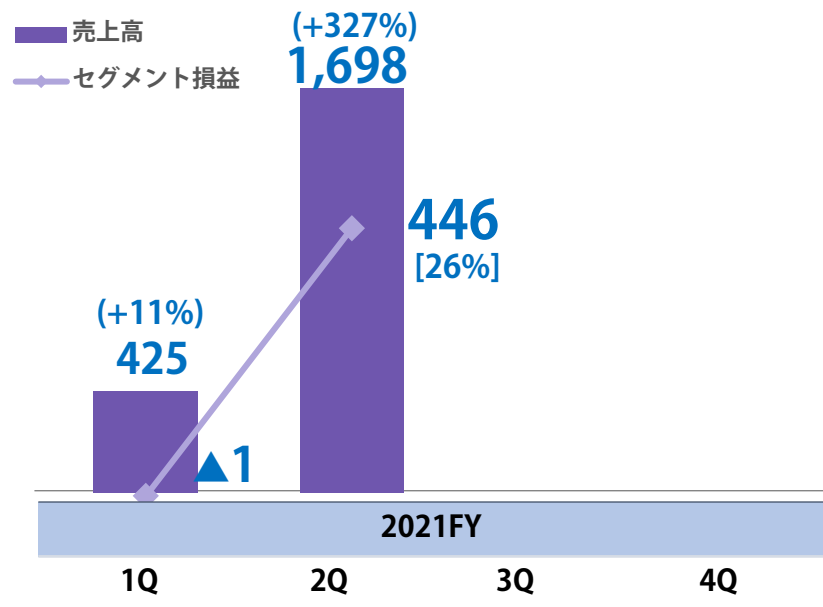
◆サービスソリューションは拡大するDX需要を受け、新規案件の受注が堅調に推移  
ただし、1Qから2Qにかけては大型案件の終了等に伴い黒字幅は縮小

- ◆7月に発売したNintendo Switchソフトが爆発的なヒットにより約30万本出荷
- ◆法人向けのコミュニケーションやキャッシュレスなどのビジネス系サービスも増収で推移

単位：百万円 ( )内は前年同期比 [ ]内は利益率



単位：百万円 ( ) 内は前年同期比 [ ]内は利益率



## 2021FY 2Qサマリー

### 売上高は前年同期比4.3倍 セグメント損益は大幅な利益を計上

◆7月に発売したNintendo Switch「クレヨンしんちゃん『オラと博士の夏休み』」が期首計画を大きく上回り、約30万本出荷し業績を牽引

◆法人や自治体向けのデジタルコミュニケーションサービスやキャッシュレス決済サービスなどのビジネス系サービスも増収継続

# 貸借対照表概況

- ・ 上場株式の売却、金融機関からの借入実行等に伴い現金及び預金が増加
- ・ 有価証券の減少等による固定資産の縮小

- ・ 買掛金等の支払債務及び長期借入金増加による負債の増加
- ・ 利益増加に伴う株主資本の増加

	前年度末(21/2)	当期末(21/8)	増減
流動資産	3,995	7,981	+3,986
現金及び預金	2,050	5,353	+3,303
売掛金・受取手形	1,038	1,245	+207
前渡金	192	541	+349
その他	715	842	+127
固定資産	2,881	1,673	▲1,208
有形固定資産	204	253	+49
無形固定資産	511	304	▲207
投資その他の資産	2,165	1,115	▲1,050
資産合計	6,876	9,654	+2,778
自己資本比率	75.6%	59.7%	▲15.9%

	前年度末(21/2)	当期末(21/8)	増減
流動負債	1,457	2,415	+958
前受金	127	259	+132
短期借入金・1年内返済予定の長期借入金	349	642	+293
その他	981	1,514	+533
固定負債	186	1,431	+1,245
負債合計	1,643	3,847	+2,204
株主資本	5,154	5,735	+581
その他の包括利益累計額	44	28	▲16
新株予約権	33	43	+10
純資産合計	5,232	5,807	+575
負債・純資産合計	6,876	9,654	+2,778

JINS II : 2022年2月期 業績見通し

---

## 2021年度業績予想を上方修正

これに加えて特別利益の発生も踏まえ配当予想を修正

### 2021年度連結業績予想および配当予想

単位：百万円	前回発表	修正後		
		増減額	増減率	
売上高	8,800	9,200	+400	+5%
営業利益	270	450	+180	+67%

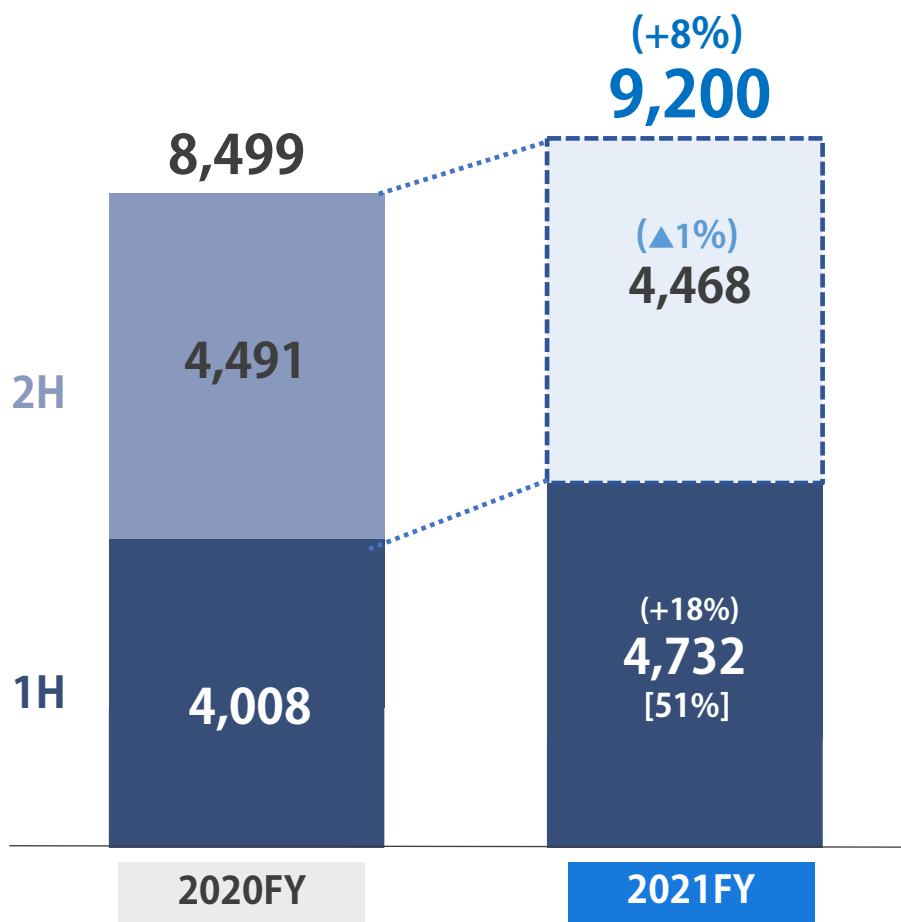
  

単位：円	前回発表	修正後	
		増減額	増減率
配当	2	10	5倍

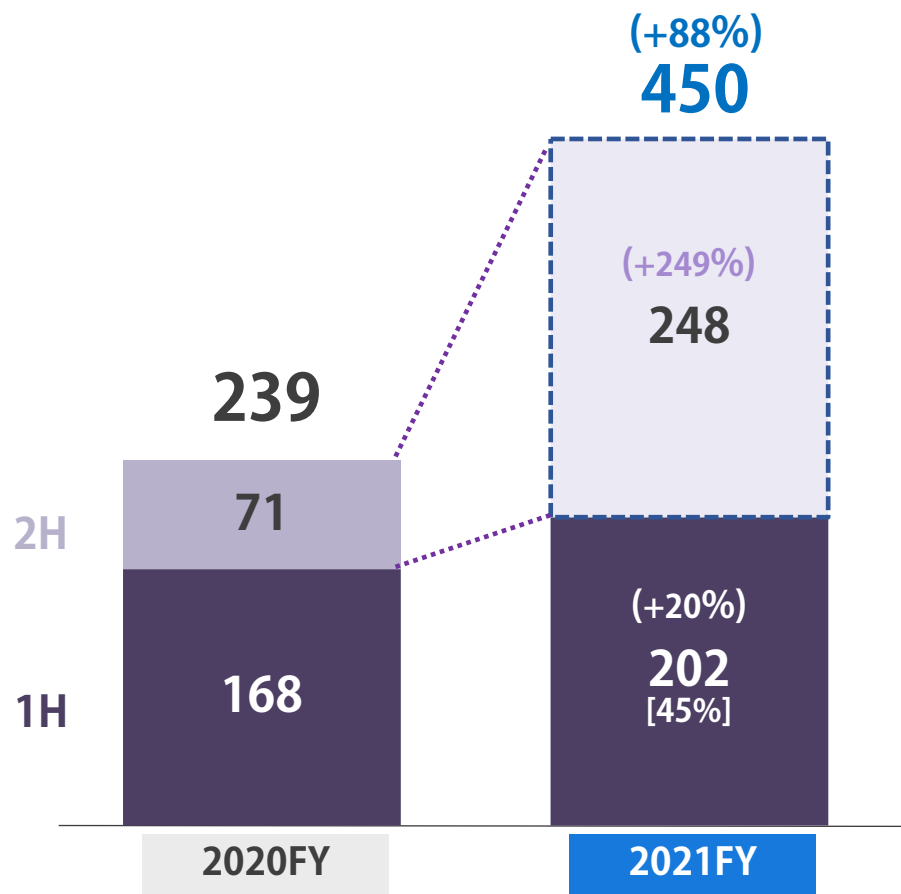
DXソリューション事業の採算化、X-Techサービス事業の好調継続により  
**下期はさらに営業利益拡大の見込み**

単位：百万円 （ ）内は前年同期比 [ ]内は進捗率

## 売上高



## 営業損益

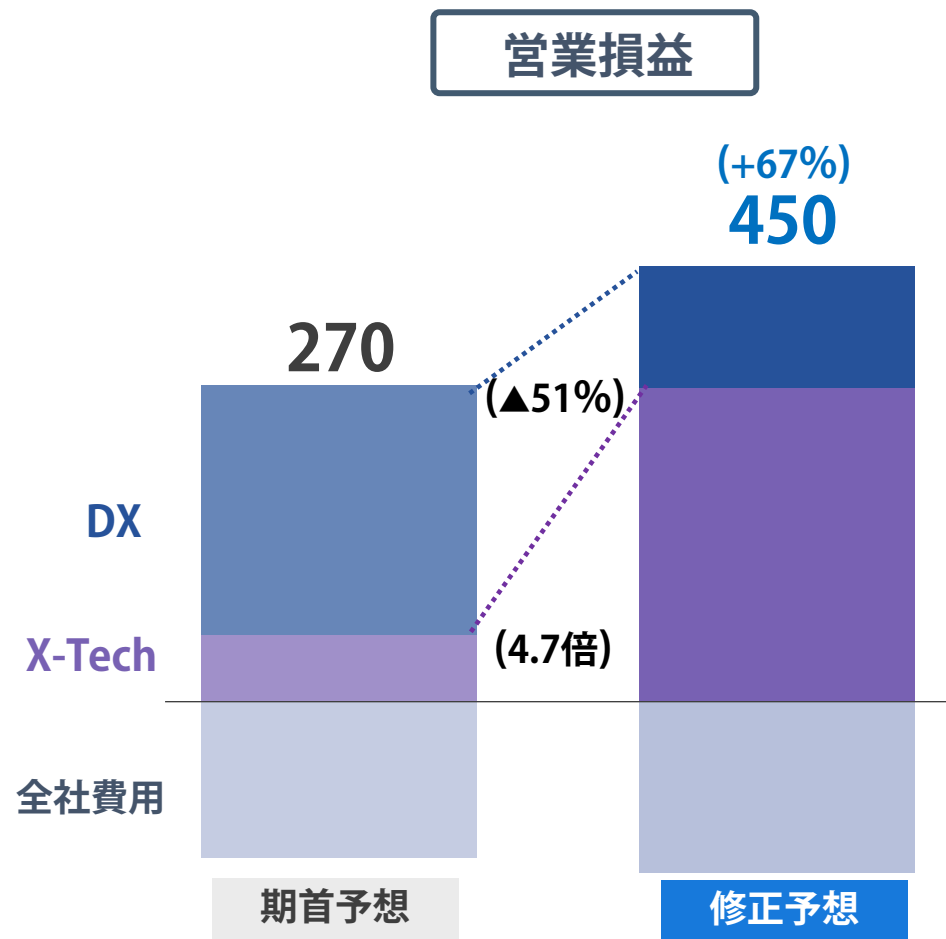
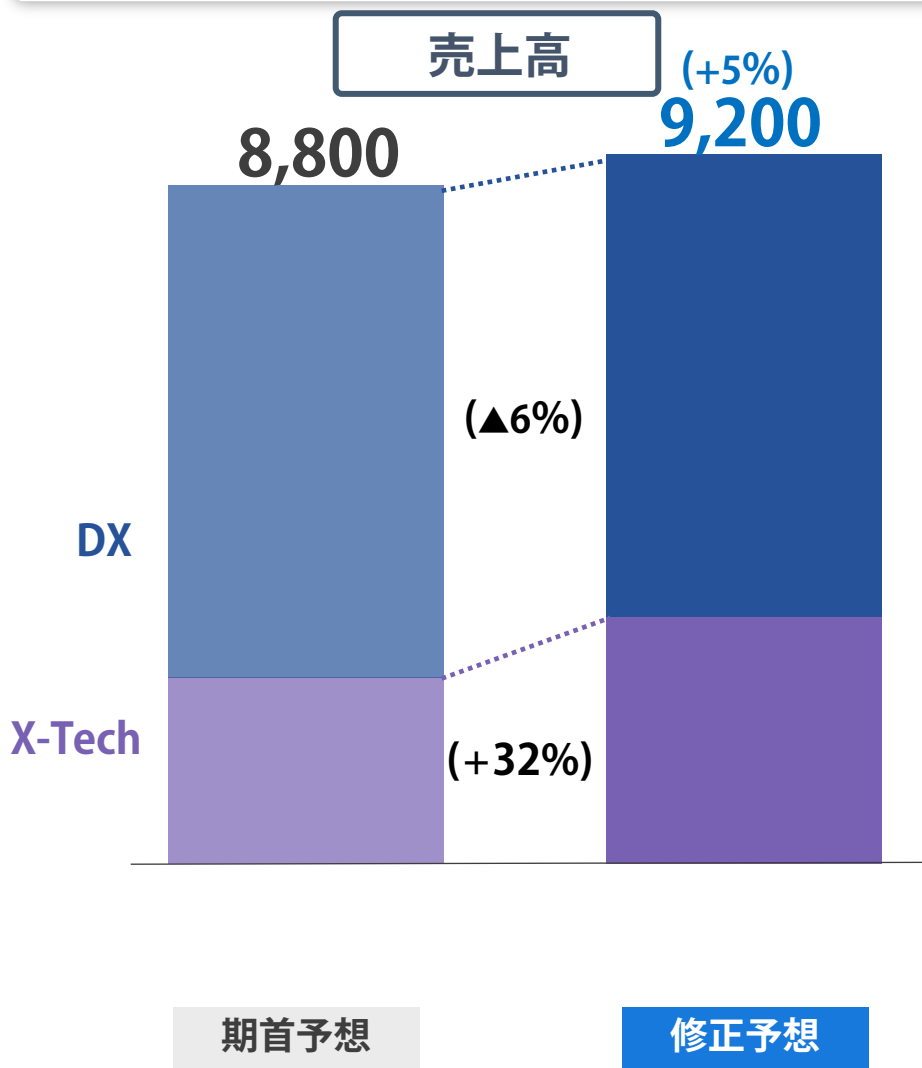


# 2022年2月期 修正連結業績予想（期首予想比較）

売上高はX-Tech事業の拡大により期首予想比5%増

営業利益はDX事業が期首予想比半減するも、X-Tech事業の大幅利益拡大により全体としては67%増加

下期はデバイス事業の急回復とサービスソリューション事業の好調により、DX事業は大きく浮上を見込む







## III：2022年2月期 下期事業展開

---

# コロナ禍によるインバウンド需要の落ち込みに対し 各種IoT機器や法人向けICTデバイスへの シフトにより受注を確保



PC



スマートフォン



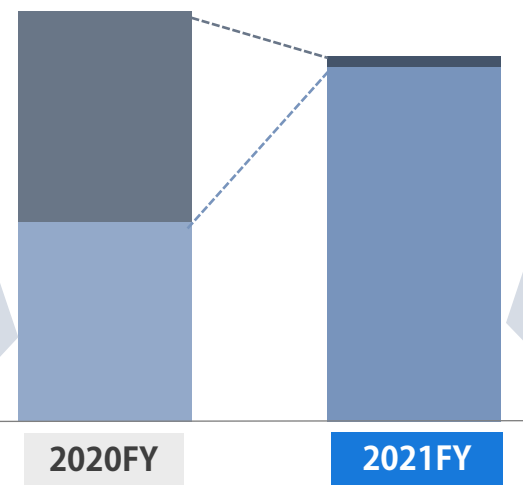
WEB会議用製品



タブレット

## デバイス事業売上高推移

■ インバウンド関連  
■ IoT・DX等



GPSデバイス



スマートディスプレイ



スマートロック



電子楽器

etc..

上期の状況

2021年初頭より、半導体や一部電子部品が世界的に枯渇し  
需給逼迫や価格高騰が発生



20年度下期から、当社においても不採算案件や製造遅延が発生

21年度上期は下記リカバリー策に集中

施策①

設計変更を伴う代替部品への置き換え

これまでの実績やノウハウにより  
中国産の半導体も積極的に活用

施策②

需給が逼迫している部材の調達

深圳のサプライチェーン活用や  
長期部品の先行調達等

21年度下期は上記施策を通じた生産を着実に実行し  
既受注案件の出荷を計画通りに遂行

## 既存クライアントである大手企業からの受注が復調および拡大傾向



## 需要が旺盛なIoT・DX等の新規案件への取り組み強化

### ◆IoTサービス向けプラットフォーム開発等 新規案件の拡大



デバイス設計・製造=JENESIS  
ソフトウェア開発=ネオス

ハードウェアからソフトウェアまで  
シームレスなトータルソリューションを展開

### ◆salesforceやkintoneなどSaaSサービス好調

開発オフィシャルパートナーとして  
既存ツールからの移行・新規システム構築等に対応



クラウド活用による業務効率化などの企業DXや  
ビジネスの最適化を支援

### ◆日本カード(株)共同開発 キャッシュレス対応オーダー受付端末 ハウス電子マネーチャージ機



コロナ禍で加速するキャッシュレス化や  
業務効率化などの店舗DXを支援

## BizCom



FAQから自動でシナリオを生成  
即戦力AIチャットボット

### 業務効率化を目的とした社内DXニーズが急増

社内問い合わせ対応や知識共有を効率化する  
「簡単運用AI」を続々展開

FAQ学習AI

ドキュメント  
学習AI

NEW

社員から学習

回答データが無い場合は  
社員に自ら聞いて学習

### クラウド型ビジネスアドレス帳



導入2,000社  
40万アカウント  
突破! ※1

ニーズに応えた  
オプション機能続々拡張

### 電話帳管理から コミュニケーション管理サービスへ進化

AzureAD連携により  
SSOやキッティングを簡便化



TeamsやZoomなどの  
ビデオ会議システムと連携予定



## FinTech



VALUE WALLET

ハウス電子マネーによるスマホ決済と  
販促・マーケを1つのアプリで実現



導入店舗  
1,500店  
突破! ※2

### スーパーマーケットにおけるアプリ活用など DX化に伴う引き合いが活発化

導入例

2021.6 キャメル珈琲 「カルディカードアプリ」  
2021.7 生活協同組合コープかがわ 「コープかがわアプリ」

- ◆機能強化による旺盛な需要取り込み
- ◆キャッシュレス後進業界の新規開拓
- ◆外部サービスとの連携によるサービス拡充

ネット注文

モバイルオーダー

位置情報

大手ハウス電子マネー事業者アララ(株)と共同で  
新たなスマホ決済サービスを創出

スマホアプリ  
販促・決済関連  
システム



キャッシュレス  
決済サービス  
各種

### 拡大するキャッシュレス決済需要への対応 店舗DXを支援

## 知育・教育

### 新規知育アプリの投入

テレビ東京コミュニケーションズや  
ポプラ社など各社提携による知育アプリを開発



タッチ操作で色・形・音に触れて楽しむ  
【シナぷしゅtouch】



昆虫の生態を学ぶ“遊べる図鑑”  
【昆虫クエスト】

### GIGAスクール構想の進展に対応した 教育コンテンツプロデュース事業の本格化

2021年7月時点 文部科学省「端末利活用状況等の実態調査」より

全国自治体の学習端末整備状況

全国公立小中学校の端末利用開始状況

ともに

**96%超**

今後本格的に拡大が見込まれる  
デジタル教材等のジャンルへの取り組み



## ヘルスケア

### 健康増進サービス「RenoBody」等 ヘルスケアサービス事業への取り組み拡大



**RenoBody**

スマホ/ウェアラブル端末対応  
無料歩数計アプリ

健康経優良法人  
支援**68**社以上

健康経営ソリューションとして法人向けに提供

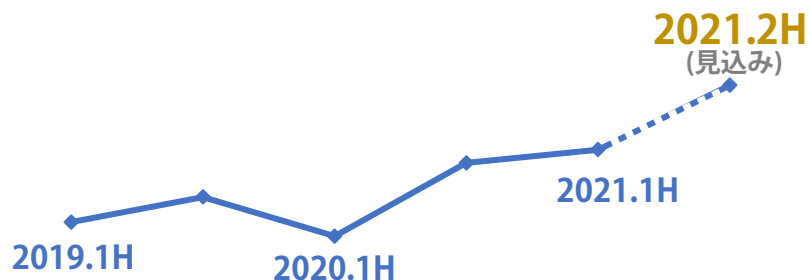


アプリ内の機能で  
ウォーキングイベントを  
手軽に開催



参加者の  
健康データを  
管理・分析

ウォーキングイベント実施団体  
今年度**400件**超(前年比2倍超)へ



出荷数  
30万本超の  
大ヒット



NintendoSwitchソフト

クレヨンしんちゃん 『オラと博士の夏休み』 ～おわらない七日間の旅～

国民的人気キャラクター  
「クレヨンしんちゃん」



シリーズ累計180万本販売  
「ぼくのなつやすみ」シリーズ監督 綾部和

ゲームユーザーからキャラクターファンまで広い層からの支持を獲得

YoutuberやSNSを活用したマーケティング展開

- Youtuberによる実況動画
- マス広告/シネアド放映
- 企業タイアップ etc..



話題性が波及し著名人のSNSや  
メディアで多数紹介



任天堂との連携

Nintendo Direct

3rdパーティ製ソフト歴代最高  
190万回再生を記録

任天堂販売との  
PKG流通の展開



店頭イメージ

## キャラクターコンテンツブランドを確立

ゲーム業界

キャラクター業界

Switchユーザー

年末商戦に向けた再度拡販展開に加えて

# 海外向け完全ローカライズ版を開発中

現地アニメ声優起用・各国語対応・カルチャライズ

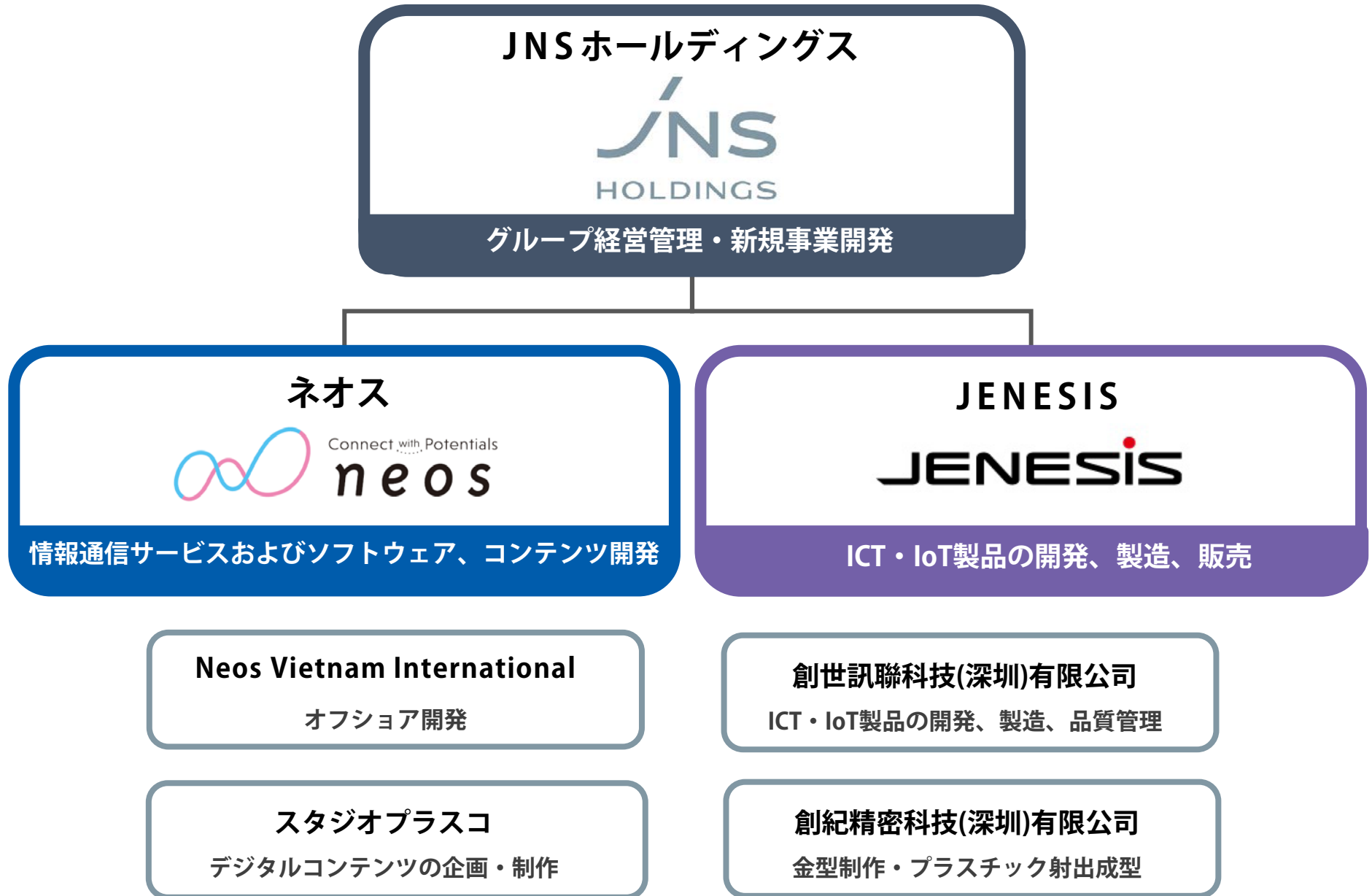
22年度  
上期  
リリース予定

## INS III : Appendix

---



所在地	東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館10F
連結従業員数 (2021年8月末現在)	450名 (国内259名・海外191名)
設立	2004年4月
上場 (証券コード：3627)	2008年5月 東証マザーズ上場 2012年1月 東証第一部へ市場変更
資本金 (2021年8月末現在)	2,383,107千円 発行済株式数 12,009,600株
主要法人株主	株式会社NTTドコモ シャープ株式会社 KDDI株式会社
連結子会社	ネオス株式会社 JENESIS株式会社 創世訊聯科技(深圳)有限公司 (中国) 創紀精密科技(深圳)有限公司 (中国) Neos Vietnam International Co., Ltd (ベトナム) スタジオプラスコ株式会社
決算期	2月



JNSホールディングス傘下の事業会社  
NEOS、JENESISを軸に2つの事業を展開

## DX ソリューション事業

### デバイスソリューション

中国深圳のサプライチェーンを活用した、小ロット・低コスト・高品質を担保する独自の生産体制を強みに、企画・設計から開発、量産、カスタマーサポートまで対応

### サービスソリューション

ICT、IoTサービスにおける企画、UI/UXデザイン、コンテンツ・サイト・アプリ・システムの開発からクラウド構築、運用までをトータルで提供

## X-Tech サービス事業

### コンテンツ系Techサービス

知育アプリやヘルスケア、キャラクターコンテンツなど幅広くサービスを提供  
教育・健康分野での知見を活かした法人向けサービスプロデュース事業も展開

### ビジネス系Techサービス

業務の効率化を実現するチャットボット等の  
ビジネスコミュニケーションサービスや  
キャッシュレス決済サービスを提供

※( )内は対前年度末

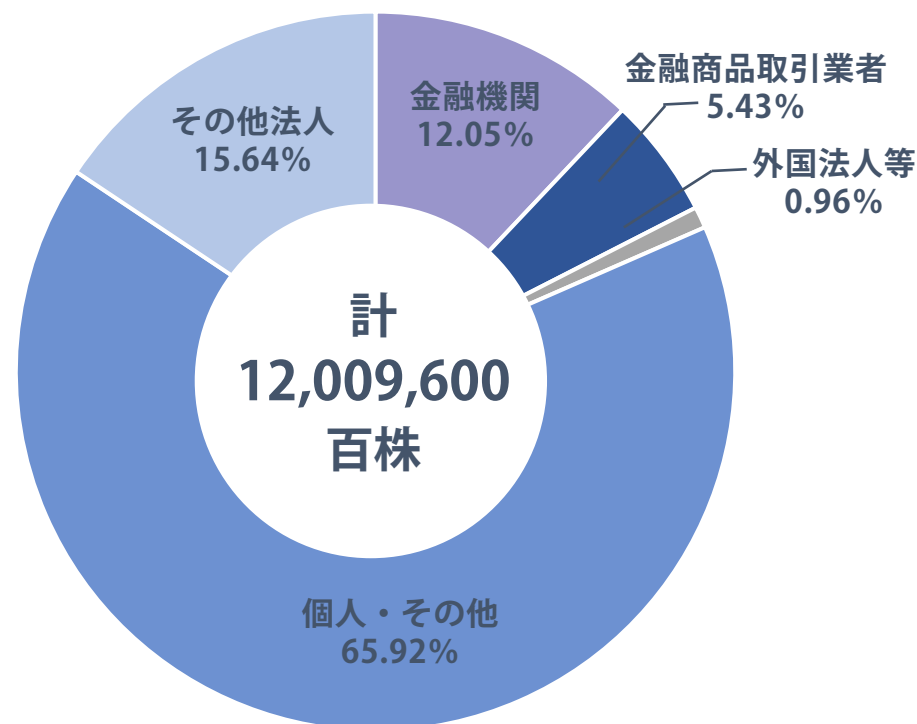
発行済み株式総数 12,009,600株  
(+215,800)

株主数 6,962名  
(▲602)

## 大株主(上位10名)

	所有株数(株)	持株比率(%)
池田 昌史	1,877,800	15.64
株式会社NTTドコモ	1,020,000	8.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	646,200	5.38
シャープ株式会社	360,000	3.00
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	215,100	1.79
井川 等	210,300	1.75
KDDI株式会社	210,000	1.75
株式会社SBI証券	202,954	1.69
藤岡 淳一	186,400	1.55
楽天証券株式会社	157,000	1.31

## 株式所有者別分布





# Leap walls, Create the Future

“技術”と“感性”で  
壁を越える、未来を創る

DX／X-Techのイノベーティブな技術と感性で  
社会の発展と未来に貢献してまいります

 **IR** メールニュース  
【購読無料】

当社IRに関する最新情報を  
タイムリーにお届け致します

<https://www.jns.inc/ir/>